

研究室名

梶本研究室

場所

西3号館401号室

連絡先(email等)

[kajimoto@kaji-lab.jp](mailto:kajimoto@kaji-lab.jp)

<http://kaji-lab.jp>

COVID-19 がもたらした状況は、我々の日常が簡単に奪われうるものを示すと同時に、情報技術がそれを回復ないし補綴する上で欠かせないものであることを示したと言えます。当研究室はバーチャルリアリティ、ヒューマンインタフェースに関する研究を行っていますが、これは現在の文脈では、我々のかけがえのない自由を維持するための研究と言えるかもしれません。

我々は特に触覚を用いた情報提示や錯覚現象の解明と応用に強みを持ちます。現在の研究は [VR用頭部触覚](#)、[前腕触覚](#)、[風船を用いた触覚提示](#)、[全身運動錯覚](#)、[釣りをした触覚提示](#)、[頭部力覚提示](#)、[パーソナルモビリティ誘導](#)、[触感の解明](#)、[高解像度触感提示](#)、[電気刺激と機械刺激の融合](#)、などですが、研究テーマは毎年新たに追加され、一人ずつ異なるので、皆さんの研究テーマは多くの場合「今はまだない」テーマです。テーマは自分で提案することも、教員や先輩の提案から選ぶことも出来ます。どちらかという直近の有用性よりも挑戦的であることを重視する傾向があります。

研究室の特徴の一つに[外部接続](#)の多さが挙げられます。学部4年で年2回程度の国内学会、修士では年1回以上国際学会発表を行います。国際学会はデモ発表も多く、体験者が千人に達することもあります。また年2人程が3ヶ月程研究留学をしています。つまり世界との連続性を実感できる環境にあります。先輩、教員の指導とこの環境が、我々が提供できるものです。

逆に皆さんに期待することはシンプルで、じっくりと研究に打ち込むことです。一般に研究未経験の学生が世界トップレベルの研究を行い、発表し、あらたな一分野を築くことは決して容易ではありません。しかし人生のある期間を賭するに値することではあります。あえてその困難を選ぶ人を探しています。[研究内容](#)、[研究教育方針](#)等はwebを参照ください。



<研究室訪問> オンラインの説明会を **11/10(火)18:00** に行います。希望する場合は[フォーム](#) [に入力をお願いします](#)。配属方法、4年生の一年、進路等について説明し、先輩の参加するQ&A タイムを設けます。皆さんが選ぶ上で研究室の雰囲気は大切な要素ですので、ぜひ確認してください。参加が難しい場合や、個別に面談したい場合は11/20までにメールください。